

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第一小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標及び学校経営方針のもとに全職員が共通理解・共通行動で取り組む。 学校評価を学校運営の改善に生かす。 校務分掌において、各職員が具現化のための方策を考え、教育活動を実践する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学級目標、学年目標の取組が、学校教育目標へと繋がっていると思います。 学年・学級通信、朝一小だよりなどのお手紙に行事や学校内の様子が記入しており、とても分かりやすい。 学校は校長及び教頭のもと、日々努力している。さらなる努力を。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の安全点検・安全管理を全職員が確実に行うとともに、「毎日が危機管理」を合い言葉に、日々の教育活動に取り組む。 内容を毎年見直ししながら、計画的に避難訓練、不審者対応訓練を実施する。 交通指導員、PTA校外部等との連携を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に訓練をしっかりと行っている。 交通指導員の配置や校長先生などが門のところに立っていて見守ってくれているのがよい。 夜間・休日などの対応が必要かと思えます。 下校時間の変更時の対応を確実に。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業、朝の時間、個別指導等において、繰り返し指導を行い、基礎学力の定着を図る。 また、読書活動、体験活動を推進する 各家庭と連携し、宿題・家庭学習に取り組ませ、「学ぶ習慣」を身に付けさせる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 勉強が分からないまま学年が上がっていき、さらに分からなくなる。低学年での指導が重要ではないかと思えます。 子どもたちの意識調査から指導力がアップしていると思えます。 日々の取組の結果が出ていると思う。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究、研修等に努め、児童に「分かる授業」を提供し、「学ぶ意欲」を高める。 算数における少人数指導を実施する。 学力・学習状況調査、教育に関する3つの達成目標の検証結果を分析し、学力向上のための方策を明確にして取り組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 算数の授業を2クラスに分けて行うのは、大変よい。 2人体制の授業など行っているのがよい。 様々な教育活動を生かし取り組んでいる。 授業参観の時など、努力が見られた。
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「学習のきまり」(一小スタンダード)を全学級の児童に繰り返し指導し、学習規律を身に付けさせ、授業の効率化を図る。 全児童に学習規律をしっかりと身に付けさせ、落ち着いた雰囲気の中でしっかりと学習に取り組ませる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方はよく指導されていると思いますが、子どもたちは注意されてもすぐもとに戻ってしまうので、先生方は根気が必要だと思いました。 同じ学習内容でも、担任の先生の技量や工夫で児童の理解に差が出ることがあります。
規律ある態度の育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 朝一小みんなのやくそくのもとに、全職員が共通行動で児童を指導する。 「褒める・認める」ことを指導の基本に、児童に自信を持たせ、自尊感情を育てる。 基本的な生活習慣が身に付くよう、各家庭と連携して取り組む。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な態度は大丈夫だと思います。 学校内では、よく身に付いているように見える。ただ、学校外に出ると、校外におけるマナーの徹底を図ってもらいたい。
	7	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 全教育活動を通して道徳教育を推進する。 「あいさつ運動」に継続して取り組む。 生徒指導委員会を中心にして、全校児童の実態を把握し、課題については全職員が情報を共有して迅速に対応し、早期解決を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 常に廊下などでのあいさつに努めている。 学校での集団生活についてはよく指導いただいています。生活ルールについては、家庭での指導が大きいと思います。
健康・体力向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間における外遊びを奨励する。 体育的な行事を工夫して、児童が意欲的に取り組めるようにする。 体育部を中心に、児童に体力づくりの意識啓発を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 長縄やボールなど各クラスにも運動に必要な用具が備えられています。持久走、縄跳び週間、水泳教室など、学校も子どもたちが運動に取り組める環境づくりをしている。 縄跳び週間があり、子どもたちはよく外で遊んでいます。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストのデータを分析し、課題を明確にして、体育の授業を中心に取り組む。 体力向上プログラムを活用する。 体育施設、用具の充実を図る。 体育朝会を計画的・継続的に実践する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年は夏休みに外部より水泳指導のお手伝いを依頼するなど、体力向上に向けて新たな取組もありました。 マラソントimeで校庭を走っているのをよく見かけました。
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校の方針、取組、児童の様子等を、通信・HP・メール・会議等で積極的に情報発信し、情報の共有化を図る。 保護者、PTA、PTAOB会、町内会と連携し、情報の共有化を図る。 なでしこ応援隊の活用を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子を保護者や地域の方にお知らせし、必要に応じて相互力を教育に生かしていると思えます。朝一小だよりを地域に配布することも身近に学校を感じます。 町内会の活動、PTAの活動にも先生方が参加してとてもよいコミュニケーションがとれていると思えます。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満